

# 高松宮賜杯 第66回全日本軟式野球大会(1部) 長崎県大会

会期 令和4年6月4日、5日(二日間)

会場 青のまち松浦スタジアム  
平戸市赤坂野球場



主催 長崎県軟式野球連盟  
主管 松浦市軟式野球連盟  
協力支部 平戸市軟式野球連盟  
協賛 ダイワマルエス株式会社

【大会使用球】



大会ホームページ



長崎県軟式野球連盟HP  
大会結果はこちらから

# 大会役員

大会会長	八江利春	（長崎県軟式野球連盟会長）	[諫早]	
大会副会長	津田祐一	（" 副会長）	[上五島]	
	太田秀穂	（" 副会長）	[東彼杵]	
	福島孝俊	（" 副会長）	[長崎]	
	岩本英昭	（松浦市軟式野球連盟会長）		
大会委員長	森田昭弘	（長崎県軟式野球連盟理事長）	[県北]	
大会副委員長	丸山隆幸	（長崎県軟式野球連盟副理事長）	[長崎]	
総務委員長	松本強	（松浦市軟式野球連盟理事長）		
大会委員	沼田浩三	[長崎]	近藤幸男	[佐世保]
	吉本行範	[諫早]	中村正之	[大村]
	兼元善啓	[島原]	田尻政樹	[平戸]
	針崎善英	[福江]	森彰夫	[東彼杵]
	宮口明	[西海]	大島稔一	[県南]
	北村英彦	[県北]	江口旭	[上五島]
	白川透	[壱岐]	原田武茂	[対馬]
	山下英一郎	[審判部]	田中康隆	[審判部]
	藤山隆一郎	[審判部]	近藤省二	[中体連]
	吉野徹	[県連]	堀田夕力子	[県連]
	千住良治	[諫早]		

【以上・県連盟理事】

# 会 場 競 技 委 員

## 【松浦会場：青のまち松浦スタジアム】

会場総括責任者	松 本 強
会場責任者	崎 尾 幸一郎・川 上 広 幸
審判総括責任者	辻 田 直太郎
審判責任者	長谷川 次 男・山 口 國 男 廣 川 聖 貴・川 村 淳
審 判 員	金 居 信 夫・中 野 豊・加 椎 幸太郎 松 瀬 幸 治・吉 田 政 志・高 橋 圭一郎 川 浪 裕 貴・荒 木 勝 之・太 田 雄 三 北 川 直 樹・中 野 正 和・柴 山 政 博 田 崎 洋 介・川 崎 祐 一・金 福 英一郎 吉 田 拓 平・松 浦 智 士
派遣審判員	藤 山 隆一郎 (長崎県軟式野球連盟審判部事務局長＝諫早支部)
放送委員	森 美紀子・桑 下 ゆかり
記録委員	広 本 弘・泊 弘 久 川 口 和 也・久保川 亜 紀
補 助 員	志佐中学校野球部・調川中学校野球部 今福中学校野球部・福島中学校野球部
事 務 局	井 戸 紳 介・平 田 佑三郎 岩 佐 宏 昭・松 本 行 央

## 【平戸会場：平戸市赤坂野球場】

会場総括責任者	田 尻 政 樹
会場責任者	田 島 輝 美・桑 山 博 之
審判総括責任者	正 木 篤
審判責任者	小 田 典 和・林 智 成
審 判 員	田 中 康 一・川久保 辰 朗・正 木 康 寛 土 肥 生 実・山 浦 高 志・川 上 儀 明
事 務 局	小 野 隆一郎

## 高松宮賜杯第66回全日本軟式野球大会（1部） 長崎県大会実施要項

1. 主 催 長崎県軟式野球連盟
2. 主 管 長崎県軟式野球連盟松浦支部（松浦市軟式野球連盟）
3. 協 力 支 部 長崎県軟式野球連盟平戸支部（平戸市軟式野球連盟）
4. 協 賛 ダイワマルエス株式会社
5. 会 期 令和4年6月4日（土）～5日（日）【予備日】6月11日（土）  
※悪天候により日程を順延する場合、日程・会場は県連と主管支部が協議の上決定する。  
※チームの意向は反映されないため、設定された日程及び会場で出場できないチームは、棄権とする。
6. 会 場 A 青のまち松浦スタジアム B 平戸市赤坂野球場
7. 参 加 チーム 2022年度に長崎県軟式野球連盟に登録されたB級チームで、県連盟15支部の代表1チーム及び開催地推薦1チームの合計16チーム
8. 出 場 資 格 チーム編成は、監督・主将を含め9名以上20名以内で構成し、スポーツ安全保険等に加入していること。
9. 適 用 規 則 2022年度公認野球規則、競技者必携に記載の項目及び別に定める特別規則を適用する。
10. 大 会 規 律 不正出場、その他規律違反については、（公財）全日本軟式野球連盟規程細則により処理する。新型コロナウイルス感染症予防対策については、長崎県軟式野球連盟の予防対策ガイドラインに沿った対策の協力をお願いする。（会場ではマスク着用、チーム内で検温等）
11. 使 用 球 （公財）全日本軟式野球連盟公認球 ダイワマルエスM号を使用する。
12. 参 加 申 込 各支部代表チームは、所定の参加申込書（エクセルデータ）に必要事項を正確に記入し、所属支部を経由して2022年5月19日（木）までに主管支部へE-Mailで提出すること。  
※選手欄は、監督・主将以下、その他の選手は背番号の若い方から記入すること。  
※参加申込書提出後は、選手の追加、変更及び背番号の変更は一切認めない。
13. 組 合 せ 抽 選 組合せ抽選会は、参加申込書提出期限の翌日に主管支部役員により代理抽選を行う。
14. 参 加 料 20,000円 大会第一日目の会場本部で試合前に打順表と交換で納入する。
15. 監 督 会 議 行わない。
16. 開（閉）会式 開会式は行わない。閉会式は大会最終日の決勝戦終了後に表彰式と兼ねて行う。
17. 表 彰 優勝チームに賞状と優勝盾を授与し、長崎県代表として九州大会の出場権を与える。
18. 旅費宿泊費 本大会に参加するための旅費・宿泊費は、すべてチーム負担とする。

19. そ の 他
- (1)出場チームは、必ず背番号（0番から99番まで、監督30番・主将10番・コーチ29番・28番）及び左袖に県名をつけること。（都市名は不可）
  - (2)木製バット以外は、（公財）全日本軟式野球連盟公認バットであること。
  - (3)捕手は、危険防止のため（公財）全日本軟式野球連盟公認のヘルメット・マスク・プロテクター・レガースを着用のこと。
  - (4)打者・走者・次打者及びベースコーチは、競技者必携に記載のヘルメットを着用のこと。
  - (5)試合に出場する捕手及びブルペン捕手は、ファールカップを着用すること。
  - (6)チームの責任は、チーム代表者または責任者において、責任を負うものとする。
  - (7)大会中の不慮の負傷、疾病については応急措置を施すが、それ以外の責任は負わない。

20. 試 合 方 法
- (1)準決勝戦までは7回戦とし、決勝戦は9回戦とする。ただし、日没、降雨の恐れがある場合は7回戦とすることができる。
  - (2)得点差によるコールドゲームは、準決勝までは5回以降7点差、決勝戦は7回以降7点差とする。
  - (3)準決勝までは5回を完了して、また決勝戦は7回を完了して降雨等で試合が継続できない場合もコールドゲームを適用する。
  - (4)降雨等で上記に記載する回が未完了または完了して同点の場合は、再試合とせず特別継続試合とする。特別継続試合でのコールドゲームもある。
  - (5)雨天でも試合を行う場合があるので、大会本部と連絡を取り合うこと。
  - (6)大会運営上、準々決勝までは回数にかかわらずに試合開始から1時間30分を超えて新しいイニングに入らない。
  - (7)時間の区切りは、1時間30分に到着した時点で先攻チームが勝っている場合は、その裏の回まで行う。後攻チームが勝っている場合は、その攻撃中の打者が打撃を終了した時点で試合を打ち切り、先攻チームが攻撃中のときはその回の終了までとする。
  - (8)準々決勝戦までは7回を終了して、または制限時間を超えて同点の場合、準決勝戦は7回を終了して同点の場合は、延長戦を行わずに直ちにタイブレーク方式で決着をつける。
  - (9)決勝戦は9回を終了して同点の場合は、通常の延長戦を12回まで行い、または試合開始後、3時間を経過した時点で、なお勝敗が決しない場合は次の回よりタイブレーク方式で決着をつける。

21. 新型コロナウィルス感染拡大に関する取り組み事項
- (1)選手、チーム関係者、役員、審判員は球場に入る際は、必ずマスクを着用すること。
  - (2)オーダー交換時にも、審判員及び選手は、マスクを着用すること。
  - (3)試合前、試合後の整列に際し、握手は行わず、大声での挨拶はしない。
  - (4)試合中、ハイタッチ、握手、大声を出すなどは行わず、各々、コミュニケーション方法を模索すること。
  - (5)球場（会場）内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。
  - (6)手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットの励行。
  - (7)応援団及びベンチ内においても、一定間隔を置いて、密接を避けること。

連 絡 先

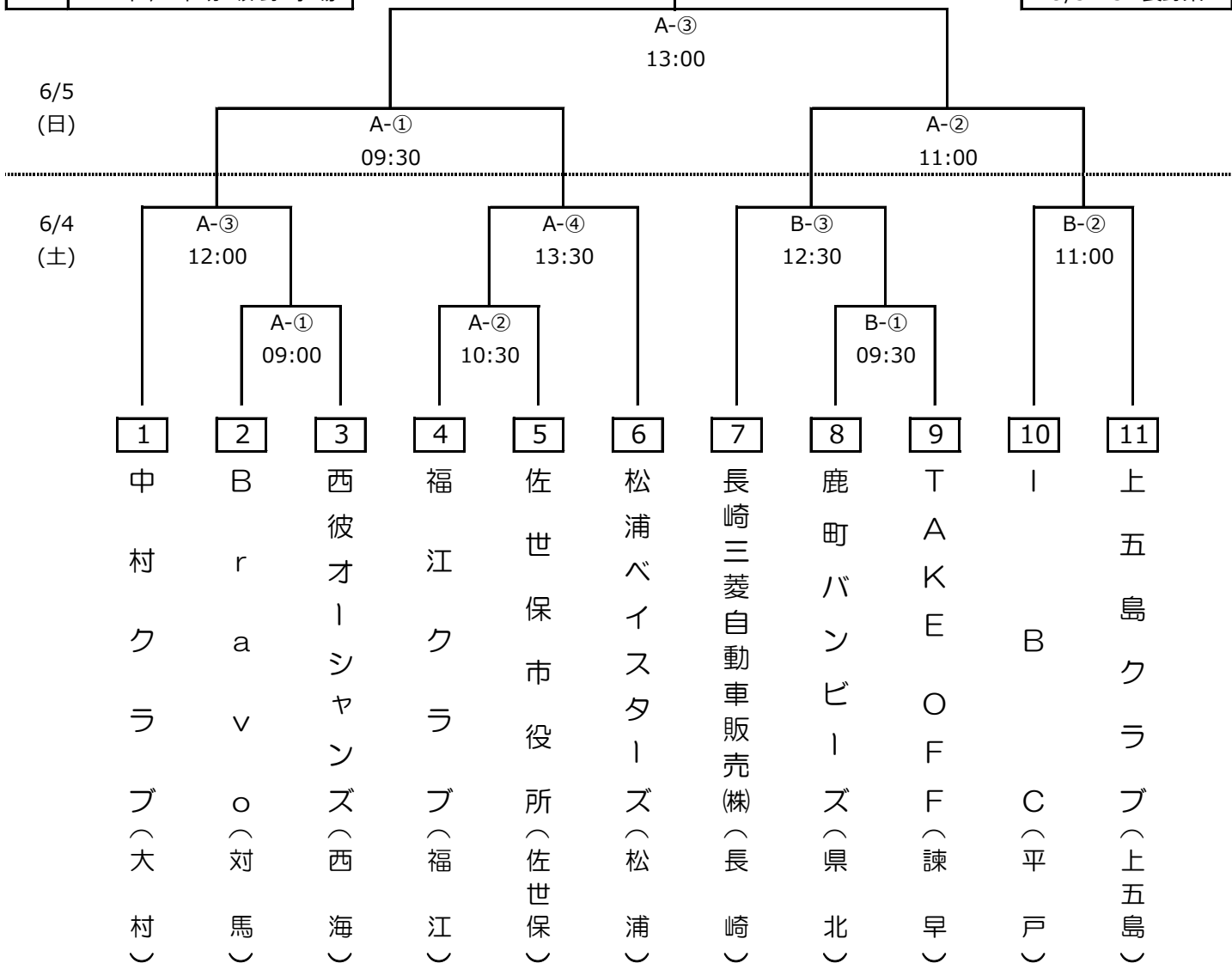
本大会についての問い合わせ先

松浦支部	理事長	松本 強	携帯	090-8664-9001
	事務局長	井戸 紳介	携帯	090-1872-7817
	メールアドレス	ido.s@city.matsuura.lg.jp		
平戸支部	理事長	田尻 政樹	携帯	090-1872-7786

会場 A: 青のまち松浦スタジアム  
B: 平戸市赤坂野球場

九州ブロック大会 7/23 佐賀県

全国大会  
9/3~5 長野県



No.	支部名	参加チーム名	参加チーム以外で支部内B級登録チーム
1	長崎	長崎三菱自動車販売(株)	九電グループ長崎・西部ガス長崎・長崎市役所・bee Bee
2	佐世保	佐世保市役所	ソリッドフェロー・西海クラブ・ケンズ・佐世保市水道局・エンジェルズ
3	諫早	TAKE OFF	たちばな信用金庫・轟クラブ・森山クラブ
4	大村	中村クラブ	大村市役所野球部・TEAM橋口・ブルーエンジェル
5	島原	<b>不参加</b>	<b>支部内にB級登録チームなし</b>
6	平戸	IBC	西龍クラブ
7	松浦	松浦バイスターズ	<b>1チームのみ</b>
8	福江	福江クラブ	福江球友会・崎山クラブ・福江ドリームスター・三井楽クラブ
9	東彼杵	<b>不参加</b>	彼杵スラッガーズ
10	西海	西彼オーシャンズ	<b>1チームのみ</b>
11	県南	<b>不参加</b>	<b>支部内にB級登録チームなし</b>
12	県北	鹿町バンビーズ	ナインズ・全田平
13	上五島	上五島クラブ	舩田グループ・上五島ブローズ・若松クラブ
14	壱岐	<b>不参加</b>	<b>支部内にB級登録チームなし</b>
15	対馬	Bravo	巖原マリナース・制覇クラブ

	開始		終了		所要		時間		分	(球審)	(一塁)	(二塁)	(三塁)
【一回戦】A-①	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計			

	開始		終了		所要		時間		分	(球審)	(一塁)	(二塁)	(三塁)
【一回戦】A-②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計			

	開始		終了		所要		時間		分	(球審)	(一塁)	(二塁)	(三塁)
【一回戦】B-①	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計			

	開始		終了		所要		時間		分	(球審)	(一塁)	(二塁)	(三塁)
【二回戦】A-③	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計			

	開始		終了		所要		時間		分	(球審)	(一塁)	(二塁)	(三塁)
【二回戦】A-④	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計			

	開始		終了		所要		時間		分	(球審)	(一塁)	(二塁)	(三塁)
【二回戦】B-②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計			

	開始		終了		所要		時間		分	(球審)	(一塁)	(二塁)	(三塁)
【二回戦】B-③	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計			

---

	開始		終了		所要		時間		分	(球審)	(一塁)	(二塁)	(三塁)
【準決勝】①	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計			

	開始		終了		所要		時間		分	(球審)	(一塁)	(二塁)	(三塁)
【準決勝】②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計			

	開始		終了		所要		時間		分	(球審)	(一塁)	(二塁)	(三塁)
【決勝】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計			

1			中村クラブ			2			B r a v o			3			西彼オーシャンズ		
大村支部			氏 名			対馬支部			氏 名			西海支部			氏 名		
No.	背番号	位 置	氏 名			No.	背番号	位 置	氏 名			No.	背番号	位 置	氏 名		
1	30	投手	村	田	大 輔	1	30	内野手	小	宮	博 輝	1	30	内野手	田	中	義 光
2	10	投手	寺	井	真 治	2	10	"	多	田	康 佑	2	10	外野手	宮	原	大 輔
3	0	捕手	中	村	正 之	3	2	投手	阿	比	留 祐 一	3	0	投手	鰐	口	琳 太
4	1	外野手	里		裕 樹	4	3	"	吉	富	源	4	6	内野手	林	田	匠
5	2	外野手	高	橋	真 郷	5	4	捕手	多	田	智 樹	5	8	外野手	門	口	拳 人
6	5	内野手	鶴	瀬	駿	6	5	"	藤	田	海 人	6	11	内野手	長	岡	孝 弥
7	6	投手	鶴	瀬	穰	7	7	"	阿	比	留 紀 貴	7	17	外野手	早	嶋	大 地
8	7	内野手	牟	田	光 成	8	8	内野手	江	口	貴 博	8	23	外野手	田	崎	佑
9	9	外野手	古	川	敬 一 朗	9	9	"	麻	生	高 利	9	25	内野手	相	川	友 哉
10	11	外野手	久	留	啓 照	10	11	"	坂	上	翔 夢	10	26	外野手	尾	野	令 典
11	13	捕手	河	村	憲 成	11	14	"	濱	口	凌 太	11	46	内野手	松	本	聖 海
12	18	内野手	釜	石	義 尚	12	19	"	中	屋	隆 太	12	48	捕手	小	嶋	羽 未
13	20	投手	中	原	大 介	13	21	"	神	宮	保 夫	13	49	内野手	宮	原	崇 輔
14	23	内野手	吉	原	大 貴	14	24	"	貞	包	桜 介	14	51	外野手	堀	口	葵
15	24	外野手	釜	石	義 嗣	15	25	外野手	井		聡 裕	15	69	投手	坂	本	大 東
16	25	内野手	林	田	敏 規	16	27	"	山	口	真 吾	16	77	内野手	岩	内	侑 大
17	31	投手	野	口	隼 人	17	29	"	諫	山	祐 也	17	85	投手	藤	原	太 一
18	41	外野手	山	内	晴 馬	18	36	"	中	島	拓 基	18	88	投手	廣	瀬	龍 輝
19	46	内野手	眞	崎	秀 斗	19	37	"	小	田	劍 生	19	89	投手	北	川	慶 悟
20	55	外野手	馬	場	公 康	20	99	"	山	代	毅	20	99	外野手	北	島	勇 気

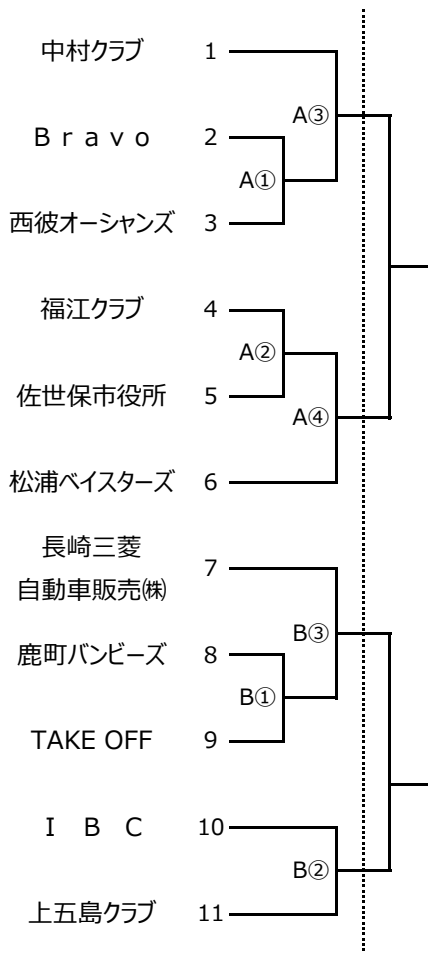
4			福江クラブ			5			佐世保市役所			6			松浦ベイスターズ		
福江支部			氏 名			佐世保支部			氏 名			松浦支部			氏 名		
No.	背番号	位 置	氏 名			No.	背番号	位 置	氏 名			No.	背番号	位 置	氏 名		
1	30	外野手	大	川	衛 吾	1	30	内野手	田	添	泰 輔	1	30	外野手	富	野	寿 朗
2	10	外野手	寺	脇	政 善	2	10	捕手	迎		義 孝	2	10	外野手	森	田	将
3	0	内野手	寺	脇	鳳 輝	3	2	内野手	川	内	野 聡 史	3	1	投手	福	田	準 也
4	1	内野手	川	村	伴 和	4	3	内野手	川	島	健 太 郎	4	2	捕手	吉	田	裕 次 郎
5	2	内野手	永	山	雅 夫	5	4	内野手	早	田	幸 平	5	4	内野手	富	森	匠
6	4	内野手	森		善 久	6	5	外野手	空	閑	圭	6	6	外野手	池	田	一 哉
7	6	内野手	橋	本	隆 義	7	6	内野手	濱	村	綾 一	7	7	内野手	荒	木	悠 史
8	7	外野手	大	川	一 成	8	8	内野手	松	永	拓 真	8	8	内野手	宮	田	慎 太 郎
9	9	内野手	樋	口	貴 彦	9	14	内野手	吉	永	充 紀	9	9	内野手	大	坪	靖 人
10	11	捕手	平	野	浩 介	10	15	投手	井	戸	翔 太	10	11	外野手	土	谷	和 也
11	14	外野手	竹	中	悠 真	11	16	内野手	崎	村	憲 壮	11	18	内野手	金	子	秀 人
12	15	外野手	野	下	友 博	12	17	外野手	小	池	太	12	20	投手	池	田	昌 太 郎
13	16	外野手	大	川	翔 吾	13	19	投手	吉	田	拓 郎	13	21	投手	吉	浦	彰 二
14	17	内野手	狩	浦	政 嗣	14	20	投手	奥	山	晃 弘	14	23	内野手	永	田	健 也
15	18	投手	松	本	善 広	15	21	内野手	西	畑	省 吾	15	25	内野手	廣	嶋	優 介
16	19	投手	大	内	竜 仁	16	23	内野手	須	崎	雄 太	16	27	投手	森		強
17	20	内野手	白	浜	元 博	17	24	捕手	下	條	光 希	17	29	内野手	今	村	修
18	21	外野手	平	田	雅 彦	18	25	外野手	吉	本	亮 将	18	47	外野手	横	田	拓 也
19	22	捕手	古	里	洋 一	19	27	外野手	村	井	正 木	19	51	捕手	紙	本	大 将
20	25	内野手	中	島	良	20	28	外野手	草	場	健 太	20	55	内野手	崎	田	幸 亮



7			長崎三菱 自動車販売(株)		
長崎支部			氏名		
No.	背番号	位置	氏名	年齢	
1	30	外野手	岩永浩司	44	
2	10	捕手	別府拓朗	27	
3	1	外野手	濱田凌	23	
4	3	内野手	大山駿	27	
5	5	内野手	尾道脩平	26	
6	8	内野手	吉川竜太郎	26	
7	9	投手	宇土慎太郎	27	
8	11	投手	小道洋平	33	
9	12	投手	田中亮太	22	
10	13	内野手	大田真吾	43	
11	15	外野手	山本龍太郎	25	
12	17	内野手	池角海光	19	
13	18	投手	杉原幸助	51	
14	21	外野手	中尾太一	27	
15	23	捕手	宮崎雄大	25	
16	25	投手	古川恭彦	44	
17	26	外野手	門下和己	55	
18	29	内野手	浦川哲治	50	
19					
20					

8			鹿町バンビーズ		
県北支部			氏名		
No.	背番号	位置	氏名	年齢	
1	30	内野手	川尻秀樹	47	
2	10	内野手	田中龍誠	23	
3	0	外野手	西村俊飛	19	
4	1	投手	田中英聖	23	
5	3	外野手	林雅倅	22	
6	5	内野手	林健司	23	
7	7	捕手	松本大貴	24	
8	9	外野手	松田一徳	42	
9	11	外野手	小田世名	21	
10	13	外野手	竹藤勝樹	44	
11	14	投手	吉浦竜馬	24	
12	17	投手	岩永優人	22	
13	18	内野手	市瀬寛輝	18	
14	21	外野手	新立朋哉	23	
15	22	内野手	林大空	25	
16	23	投手	濱田剛	49	
17	24	内野手	山口愛彦	24	
18	27	外野手	西村友翔	21	
19	44	投手	荒木泰大	44	
20					

9			TAKE OFF		
諫早支部			氏名		
No.	背番号	位置	氏名	年齢	
1	30	内野手	宮崎良太	42	
2	10	外野手	浦祐大	33	
3	0	内野手	明石拓人	31	
4	1	投手	北島柊太	24	
5	3	投手	野田浩司	35	
6	4	捕手	飯野凌太	26	
7	5	内野手	平原綾介	26	
8	7	内野手	浦大周	26	
9	8	内野手	増丸凌夢	26	
10	9	外野手	平山将太郎	22	
11	13	内野手	須崎勝喜	25	
12	14	投手	平松冬優	24	
13	16	捕手	飯野滉太	27	
14	17	投手	山本真星	30	
15	18	投手	土井彰人	24	
16	21	外野手	薩本佳弘	42	
17	22	内野手	濱崎一真	24	
18	24	外野手	岳尾勇輝	27	
19	25	外野手	下田泰輝	26	
20	31	捕手	山田大輔	42	



10			I B C		
平戸支部			氏名		
No.	背番号	位置	氏名	年齢	
1	30	内野手	近藤暁	39	
2	10	内野手	大宅慶輝	24	
3	1	外野手	元吉竜一	34	
4	2	内野手	田中克明	24	
5	4	内野手	栗林拓	24	
6	5	内野手	山本拓実	25	
7	6	内野手	中野奨公	24	
8	7	外野手	小倉雄大	29	
9	14	投手	大瀬良優人	24	
10	16	外野手	前田啓太	37	
11	22	投手	山本航希	24	
12	26	投手	小川晃平	30	
13	33	内野手	山本敬蔵	35	
14	34	外野手	藤本洋嗣	24	
15	41	投手	田淵主萌	24	
16	52	内野手	山本誉	24	
17	66	内野手	内川元気	24	
18	77	外野手	山浦高志	41	
19	97	投手	松本大晟	24	
20	99	捕手	豊村真也	24	

11			上五島クラブ		
上五島支部			氏名		
No.	背番号	位置	氏名	年齢	
1	30	投手	田邊洋平	43	
2	10	内野手	原東紀	32	
3	0	内野手	竹山錬	24	
4	1	内野手	中口暢	31	
5	6	内野手	佐々野芳則	43	
6	7	内野手	橋本大輝	21	
7	8	内野手	山口朋大	50	
8	9	捕手	安藤翔平	32	
9	11	外野手	畑村輝男	31	
10	14	内野手	鉄川雅之	41	
11	15	外野手	前田耕平	39	
12	18	投手	松下真人	19	
13	22	外野手	宮田将志	38	
14	24	外野手	竹山寛介	32	
15	25	内野手	川口秀太	40	
16	27	内野手	福永隼也	32	
17	36	内野手	川口誠	38	
18	42	外野手	原隆司	25	
19	52	外野手	濱上勝太	19	
20	56	外野手	大石陸斗	25	

## 高松宮賜杯全日本軟式野球大会

昭和21年8月に全日本軟式野球連盟が設立され、その組織も着実に確立されると加盟チームも年々増加していったが、多くのチーム間には技量の差が当然のように出てきた。

そこで連盟では昭和25年からチームの登録をA、B、Cの級別に分け、各都道府県では級別大会を持つよう指導した。この結果各支部では従来的一般大会(級別に関係なく)のほか、各級別大会とチームのレベルに応じた大会を実施するようになった。

昭和30年に北海道から九州までの9ブロックでB級とC級のブロック大会が一斉に開始されると、32年にはB級とC級の第1回大会が群馬県で開催。

名称を『全日本選抜軟式野球大会』とし、同時にB級を1部、C級を2部とし、参加チームは両部とも各ブロック代表と開催地の計10チームで始まった。

この競技人口の多い1部と2部の大会発展のため34年に昭和天皇の弟宮である高松宮宣仁親王殿下から高松宮杯が下賜され、この年の第3回北海道大会から優勝チームに授与されるようになった。

このため大会の名称も改められ、38年第7回福島大会から『高松宮賜杯全日本軟式野球大会』と呼称した。40年の第9回京都大会から参加チームが1部、2部とも16(九州から2)になったが、1部大会において長崎県チームが九州ブロック代表として全国大会の土を踏んだのは、43年の第12回大会での諫早クラブ。だが初戦で愛知県の国際観光ホテルニューナゴヤに0-2敗戦。

1部代表の県勢チームが二度目の全国大会は5年後の48年第17回大会での有明町クラブ。佐賀県で開催の九州大会で初戦の宮島醤油(佐賀)を延長12回の末、4-3で下すと、代表決定戦の佐伯オリオンズ(大分)は延長19回1-0の死闘を制しての全国大会であったが身長155cmの『小さな大投手』金子一雄の力投及ばず、静岡代表のフジクラブに2-4で初戦敗退。

県勢3チーム目の出場は、前回から11年後の59年第28回大会での轟クラブ。5年前の54年第23回大会ではC級の2部大会に九州大会を突破して初出場。3戦してのベスト4。そしてB級昇格しての全国大会では4戦しての準優勝。

- 【一】 4-0 専売地方局(福島)
- 【二】 3-0 川鉄コーラルズ(兵庫)
- 【準】 4-0 五大化学(山口)
- 【決】 0-1 鷲宮製作所(埼玉)

高松宮賜杯(1部)全国大会			
回	年	開催地	九州地区からの代表県と試合数
1	S.32年	群馬県	福岡②BEST4
2	S.33年	大阪府	鹿児島②BEST4
3	S.34年	北海道	大分③準優勝
4	S.35年	徳島県	熊本③準優勝
5	S.36年	富山県	福岡①
6	S.37年	宮崎県	福岡④優勝 宮崎②BEST4
7	S.38年	福島県	熊本②
8	S.39年	山口県	鹿児島①
9	S.40年	京都府	大分④準優勝 佐賀①
10	S.41年	埼玉県	佐賀② 熊本②
11	S.42年	愛知県	大分③BEST4 佐賀②
12	S.43年	岩手県	鹿児島② <b>長崎①</b>
13	S.44年	愛媛県	福岡③BEST4 大分③BEST4
14	S.45年	和歌山県	福岡② 大分①
15	S.46年	長野県	福岡④準優勝 佐賀①
16	S.47年	茨城県	福岡① 熊本①
17	S.48年	島根県	鹿児島② <b>長崎①</b>
18	S.49年	佐賀県	福岡③BEST4 大分① 佐賀①
19	S.50年	千葉県	佐賀② 大分①
20	S.51年	青森県	熊本① 宮崎①
21	S.52年	栃木県	佐賀① 鹿児島①
22	S.53年	香川県	鹿児島③BEST4 熊本②
23	S.54年	東京都	大分① 鹿児島①
24	S.55年	滋賀県	福岡② 宮崎①
25	S.56年	岐阜県	福岡④準優勝 宮崎②
26	S.57年	大分県	大分④準優勝 熊本② 福岡①
27	S.58年	青森県	福岡④優勝 熊本①
28	S.59年	新潟県	<b>長崎④</b> 準優勝 熊本③BEST4
29	S.60年	兵庫県	熊本③BEST4 佐賀②
30	S.61年	高知県	鹿児島② 大分①
31	S.62年	北海道	佐賀② 福岡①
32	S.63年	山梨県	福岡② 大分②

第33回大会(平成元年)からそれぞれの部が32チームと倍増。それまで両部が同時期に同一開催地であったのが、分離開催されることになった。

九州枠は沖縄県が単独出場となり、残りの7県で4枠となり、輪番に回ってくる九州ブロック大会の開催県代表がそのまま全国へ。残り6県で3枠を争っているが、九州地区で全国大会開催の場合は開催県が4。残りの5県で4枠の、計8チーム(沖縄を除く)が参加している。

## 昭和58年(第27回大会)以降の、長崎県代表チームと上位大会での戦績表

回	年	長崎県代表チームと上位大会戦績	回	年	長崎県代表チームと上位大会戦績
27	58	海王(対馬) 九州ブロック(鹿児島)で敗退	29	60	西海クラブ(佐世保) 九州ブロック(熊本)で敗退
28	59	轟クラブ(北高来) 九州ブロックで2勝し全国へ	30	61	海王(対馬) 九州ブロック(大分)で敗退
		【一】 4-0 専売地方局(福島)	31	62	生月体協(県北) 九州ブロック(福岡)で敗退
		【二】 3-0 川鉄コーラルズ(兵庫)	32	63	N T T 長崎(長崎) 九州ブロック(宮崎)で敗退
		【準】 4-0 五大化学(山口)			
		【決】 0-1 鷺宮製作所(埼玉)			

### ◆平成元年より全国大会の参加枠が16から32と倍になる◆

色塗りは九州大会を経ずに全国大会へ

回	年	長崎県代表チームと上位大会戦績	回	年	長崎県代表チームと上位大会戦績
33	元	長崎県共済連(長崎) ◆ベスト8◆	50	18	A L L 生月(平戸) 九州ブロック(佐賀)で勝利
		【一】 6-1 旭川市消防局(北海道)			【一】 3-2 ノメリコンズ(滋賀)
		【二】 2-0 八郎潟町役場(秋田)			【二】 1-2 四国明治牛乳クラブ(香川)
		【準々】 4-8 T D K(千葉)			51
34	2	豊玉クラブ(対馬) 九州ブロック開催県で全国へ	52	20	たちばな信用金庫(諫早) 九州ブロック(宮崎)で勝利
		【一】 6-7 (14回)桃華楼クラブ(栃木)			【一】 1-4 山形市役所(山形)
35	3	諫早信用金庫(諫早) 九州ブロック(熊本)で敗退	53	21	アリアケジャパン(県北) 九州ブロック(鹿児島)で勝利
36	4	西九州三菱自販(長崎) 九州ブロック(佐賀)で敗退			【一】 1-3 経堂農大大通りクラブ(東京)
37	5	愛野町体協(南高来) 九州ブロック(福岡)で敗退	54	22	たちばな信用金庫(諫早) 九州ブロック(大分)で勝利
38	6	松浦市役所 九州ブロック(宮崎)で勝利			【一】 6-5 中村メッツOBクラブ(開催地)
		【一】 3-2 青森県庁(青森)			【二】 3-6 B R A V E R S(兵庫)
		【二】 1-7 オール篠崎(東京)	55	23	(株)南原(大村) 九州ブロック(熊本)で敗退
39	7	J A 信連(長崎) 九州ブロック(鹿児島)で敗退	56	24	支払基金クラブ(長崎) 九州ブロック(福岡)で敗退
40	8	福江球友会(福江) 九州ブロック(大分)で敗退	57	25	中村クラブ(大村) 九州ブロック(鹿児島)で敗退
41	9	諫早信用金庫(諫早) 九州ブロック(熊本)で勝利	58	26	JF長崎漁連野球部(諫早) 九州ブロック(佐賀)で勝利
		【一】 0-2 N E Cエンジニアリング(東京)			【一】 0-2 B A B E R U T H(滋賀)
42	10	佐世保クラブ(佐世保) 九州ブロック開催県で全国へ	59	27	JF長崎漁連野球部(諫早) 九州ブロック(福岡)で敗退
		【一】 3-4 キッセイ薬品工業(長野)			60
43	11	浜屋百貨店(長崎) 九州ブロック(鹿児島)で勝利			【一】 3-2 佐藤カプセラーズ(奈良)
		【一】 0-2 タプロス(株)(秋田)			【二】 3-6 ウィングス倶楽部(埼玉)
44	12	九電長崎支店(長崎) 九州ブロック(福岡)で敗退	61	29	長崎サニクリーン(東彼杵) 九州ブロック(鹿児島)で勝利
45	13	たちばな信用金庫(諫早) 九州ブロック(宮崎)で敗退			【一】 0-3 富山日野自動車(富山)
46	14	長崎市役所(長崎) 九州ブロック(鹿児島)で敗退	62	30	たちばな信用金庫(諫早) 九州ブロック(福岡)で敗退
47	15	たちばな信用金庫(諫早) 九州ブロック(大分)で勝利	63	元	鹿町バンビーズ(県北) 九州ブロック(熊本)で敗退
		【一】 1-4 M B C カザ(長野) = 優勝			<b>新型コロナウイルス感染拡大で県大会～全国大会は中止</b>
48	16	たちばな信用金庫(諫早) 九州ブロック(熊本)で敗退	65	3	西部ガス長崎(長崎) 九州ブロック(鹿児島)で敗退
49	17	巖原マリナーズ(対馬) 九州ブロック開催県で全国へ	66	4	
		【一】 0-9 クライム(静岡)	67	5	

ボールが飛んだ。  
こころも弾んだ。



「カキーン！」

その瞬間、青空に飛んだ  
ボールのように  
ぼくらのこころも弾んでいた。  
マルエスボールは、  
熱いスポーツマインドに響く  
感動のドラマを応援します。



本大会使用球  
**MARUS BALL**  
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球  
(公財)日本ソフトボール協会検定球

タイフマルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州

タイフホウグループ